

第2回
市民説明会

2015年4月5日(日)
09:40~10:40

生涯学習センター
2階 研修室

出席者: (敬称略, 順不同)
桶川市(O)
総務部長 小沢
総務部新庁舎建設推進課 白根, 野本, 園田, 大嶋
日本設計(NS) 3名
市民参加者 2名

管理技術者:
記録:

項目	議事	発言者
1	<p>開会・あいさつ</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目1, 2の内容については、第1回市民説明会記録参照。 	
2		
3	<p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に駐車台数60台とあったが、敷地外の駐車場はどうするのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 現在利用している敷地外駐車場は今後も継続的に利用していきたいと考えている。現在は借地であるが、担保性を考慮し、将来的には購入したい考えで関係者と話をしている。そちらでも50台程度確保できるので、全体で110台の駐車スペースを確保する考えである。 → 仮設庁舎の駐車場利用で一番多い日で70台であった。3月議会開催期間もあったが、70台あれば足りると考える。庁舎機能を集約化したことによる職員の利用等が減った効果もあったかと思う。 ピロティ駐車場はこの辺りでは見ないが、敷地内にできるだけ駐車台数を確保すること、地下に駐車場を設けた場合に経費がかかること、地下駐車場から1階窓口までの移動も1層分上がることに変わりにないこと等も考慮している。車両が出入りしやすい1階に駐車場を確保し、総合案内を設置し、総合案内からエレベーターに移動する人などが良く見えるようにして、事故等が起きないように計画とすることを考えている。 <ul style="list-style-type: none"> → 地下駐車場に掛かる費用は設備費等も含めて約1千万/台。地上駐車場であっても約0.6千万/台と掛かるが、コスト削減の効果はある。 甲府市役所(山梨県)がピロティ駐車場方式を採用し、利便性に優れているという話を聞き、先日視察を行った。職員や利用している市民の方々にヒアリングしたところ、好評を得ていることが分かった。誘導を丁寧に分かりやすく行うことがポイントであることも分かった。1階の総合案内所から2階に上がるまで介添したり、上がった先ではコンシェルジュといった案内役の方が丁寧に対応したりすればかえって利便性が良いとのこと。 エスカレーターを設置することでコストアップとなるが、この分も見込んだ上で36.5億円の概算工事費を設定している。 耐震性について、敷地周辺は泉と言われるだけあって、土壌の建物への影響は大丈夫か。 <ul style="list-style-type: none"> → ボウリング調査より、建物を支持する固い地盤が地表面から約20mほどの深さにあることが分かっている。その固い地盤まで杭を打った上で建て、安全性を確保する。 直天井とは何か。 <ul style="list-style-type: none"> → 天井を取ると空間が大きくなります。これを逆に考えると、階高をつめても圧迫感のない空間ができるため全体の工事費を抑えることができます。また周辺に落ちる影が減るといったメリットが挙げられます。直天井としている建物が少ない理由は、天井裏の部分を整理してデザインする設計の手間が掛かるためです。整理して作れば見苦しいものにはなりません。カフェやショッピングセンターではよく採用されています。 → 近隣で採用している事例はありますか。 <ul style="list-style-type: none"> → 近隣ではないが、山梨市役所で採用しています。 → 直天井とする部分は執務室を考えている。議会や会議室は天井を貼ることを考えている。 → 天井材がなくなることによるコストダウンはあるが中を整理するために多少コストが掛かるので、大きな金額ではないが全体としてコスト削減の効果もある。また、天井材の耐用期限(20~30年後)を迎えた場合には張替えのためのコストと手間が掛かるため、長い期間でみれば改修費用を抑えることも可能である。 → 中が見えているため、交換や修理が行いやすいといったメリットもある。 近隣が住宅地である中で5階建てとするため、敷地西側はできるだけ近隣から離し、職員駐輪場を配置し、低木等を植えることを検討している。 <ul style="list-style-type: none"> → 西側は境界線から窓面まで5m離して計画している。 → 現状は1m程度で人がやとすれ違えるか程度の距離である。 公用車も敷地内駐車場を利用するのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 公用車は原則には陸橋下の駐車場を利用する。ただし、市長車、議長車、電気自動車については敷地内駐車場に停めることになると思う。 べにばな陸橋と庁舎建物の高さ関係はどうなっているのか。 <ul style="list-style-type: none"> → 陸橋が上がり切った手前の高さで並ぶこととなる。 → 旧庁舎3階建てから5階建てとなるが、必要面積を確保していくとこの規模の建物となる。他に6階案も検討を行った結果、5階案を採用した。 立体駐車場についても検討したが、敷地が狭い中での立体駐車場は使い勝手が悪いので、平面で駐車しやすい計画とした。 周辺の道路整備も併せて行ってほしいという意見もある。車でのアクセスだけでなく、路線バスも整備してバス利用を促すことも安全性向上のためには良いかと思う。 <ul style="list-style-type: none"> → 新庁舎建設にあたって敷地前面の歩道を拡幅し、バスレーンも整備する。 → 道路等の周辺環境の整備は担当課と相談していく。 	<p>市民参加者 桶川市</p> <p>桶川市</p> <p>桶川市</p> <p>日本設計</p> <p>桶川市</p> <p>市民参加者 桶川市</p> <p>市民参加者 日本設計</p> <p>市民参加者 桶川市 桶川市 日本設計</p> <p>桶川市 桶川市</p> <p>市民参加者 桶川市 桶川市</p> <p>桶川市</p> <p>市民参加者 桶川市 桶川市</p>
	以上	